



## 子供の森の落羽松

矢田丘陵の子供の森は大好きで、よく歩きに行きます。

あのロマンチックな草原風の広場のメタセコイアの林がいいですねえーとか語っていると、あれはメタセコイアではなくてラクウショウだと教えて貰った。そうなんです、長い間信じていたことが、ある日突然間違っていたと気付いたのです。

で、ラクウショウ、漢字で書くと「落羽松」、スギ科の木でメタセコイアと似ていて、遠目には素人には見分けが付かない。見分け方は、スギのような硬い葉が互い違いに出ているのがメタセコイアで、同じところから出ているのが落羽松なんだとか。

落羽松の原産地は北アメリカの東部やミシシッピの湿地帯で、川岸の湿ったところを好むそうです。しかし子供の森には川なんか無いし、この爽やかな高原風の森の風景は湿地帯というイメージではないのだが、なぜここに落羽松の林があるのか、それも教えて貰いました。それは以前ここには田圃があって、森の斜面には棚田が広がっていたんだそうです。

千枚田といわれる矢田の棚田、その一番高いところにある子供の森は、確かに落羽松が好む湿地帯に間違いなかったのです。

(子供の森 012 2024-06)